

問 1. 次の英文クレームを翻訳しなさい。

【請求項 1】

ウェブコンテンツのソースを検証するためにクライアント装置によって実現される方法であって、前記クライアント装置のブラウザ上を移動するための選択であって、該選択によって指定される特定のドメインから利用可能なウェブコンテンツを取得するための選択を受け取り、前記特定のドメインに対応するサーバへの接続を確立し、指定された場所から、前記サーバに関する証明書であって、前記サーバの信頼性判定を可能にするような該証明書の所有者に関する情報と該所有者が操作を許可されているドメインに関する情報とを含む証明書を取得し、前記サーバに対して取得された証明書が前記選択によって指定された前記特定のドメインを許可しているか否かに少なくとも部分的に基づいて、前記サーバを信頼するか否かを判定し、前記サーバを信頼すると判定した場合、該サーバとのその後の通信を暗号化なしで可能にする、方法。

【請求項 2】

前記サーバを信頼すると判定した場合、さらに、前記証明書に含まれる該証明書の所有者の名称を確認し、前記ブラウザのユーザインタフェースを、該ユーザインタフェースを介して前記特定のドメインに対応する前記証明書の所有者の名称を表示するように設定する、請求項 1 に記載の方法。

問 2.

マイクロエレクトロニクス産業において、マルチプロセッサチップが将来的に数十、あるいは数百個のノードによって構成され得ることを示す傾向がある。ノードは、コアとも呼ばれる処理要素とすることもでき、あるいは、キャッシュまたはメモリのような他のデバイスとすることもできる。望ましい構成としては、オンチップの同報通信バスが任意の 1 つのノードと他のすべてのノードとの間の通信を可能にする。原理的には、バスを駆動可能なノードであれば、バスに接続する全てのノードにバスを介して情報を同報通信することができる。

ノードの数が増えると、それに従ってバスも拡張させなければならない。同時に、ノード自体の性能を向上するには、これに対応してバスの帯域幅を増加させる必要がある。ノード総数が増加すると、相互接続経路が長くなり、これによりシグナルインテグリティの問題がより深刻なものとなるとともにチップ面積の必要量が増加する。ノード性能に合わせて帯域幅を高める必要性と相まって、これらの要因により、大規模なオンチップの電子同報通信バスが実現不可能となっている。

これらの限界を解消するために、階層的なバスが提案されている。しかしながら、一般的には、電気的なマルチコアプロセッサによるほとんどの解決策では、1 対 1 の相互接続が選択されるため、同報通信の相互接続を全く用いていない。同報通信機能が必要な場合、同報通信メッセージが各コアに対する個々の 1 対 1 のメッセージに分けられる。これは多くのシステムにおいて機能するが、冗長であるために余分な帯域幅および電力を消費することになり、レイテンシが生じてしまう。

問 3.

以下の詳細な説明において、本出願の一部であり、本発明が実施され得る特定の実施形態を例示として示す添付図面を参照する。

本発明の実施形態によれば、新規のマーキングを検出できないあるいは検出可能に設定していない従来の装置に対する下位互換性を提供しつつ、各種サンプル媒体のバーコードに情報を追加して書き込むことができる。一実施形態において、これは、実質的に 2 層の情報を設けることにより達成される。第 1 の層は、従来の可視バーコードとして見える。この可視バーコードは、従来の診断装置／バーコードスキャナに対応可能な試薬紙による識別を提供するために用いることができる。第 2 の層は、従来の装置／バーコードスキャナでは実質的に見えず、新規または改良された装置によって読み取り可能な追加情報を含む、非可視（例えば、赤外線または紫外線）バーコードであってもよい。これにより、このバーコードを読み取り可能な装置によって高密度のバーコード情報を用いることができるように、より高解像度の（例えば、情報量の多い）記録が可能になる。また、これにより、コストのかかるハードウェアおよび／またはソフトウェアのアップグレードをしなくてもよくなる、あるいは遅らせ、同時に、キャリブレーション情報、ロット情報等の追加情報を暗号化することによりさらなる利点ももたらされる。